

# 造園連新聞

発行所  
社団法人 日本造園組合連合会  
〒101-0052 東京都千代田区神田  
小川町3-3-2 マツシタビル7階  
TEL 03(3293)7577(代)  
FAX 03(3293)7579  
URL http://www.jflc.or.jp  
E-mail jflc@sepia.ocn.ne.jp  
定価1ヶ月250円

庭園マイスターズ  
みなで育てよう  
造園連の愛称

## 実技課題の改定へ

### 1級造園技能検定

1級造園技能検定の実技課題が、来年度(平成25年度)改定される。来年5月下旬の課題公表にむけて、11月14日には、新しい実技課題案による試行試験(トライアル)が行われた。

1級課題は平成11年度以来14年ぶりの大幅改定となる。中央職業能力開発協会、実技課題の試行試験(トライアル)を東京で実施し、当日は3区画で作業業の模様を見学に訪れた。

造園連新聞では新年号(25年1月1日付)にて今回の試行課題について、従来の課題との相違点や特徴などを紹介する予定。また今回の試行試験の結果をうけて、実技試験問題の最終的な検討が行われる。また新しい課題に対応した技能検定教材「造園実技作業の手引(1・2級)」「1級造園技能検定実技作業DVD」は、課題公表後の来年6月に造園連より発行される。

## すべての級で合格者増に 造園技能検定合格状況発表

平成24年度「造園」技能検定実技試験実施状況一覧 造園連調査

級別	1級合格者数	2級合格者数	3級合格者数	女性合格者数
1 北海道	16	31	56	42
2 青森	4	12	14	2
3 岩手	5	10	27	5
4 宮城	17	29	10	2
5 秋田	0	4	4	1
6 山形	4	7	6	0
7 福島	8	8	16	0
8 茨城	16	23	28	3
9 栃木	2	8	16	0
10 群馬	13	11	19	15
11 埼玉	36	49	35	20
12 千葉	9	45	20	10
13 神奈川	52	97	69	47
14 山梨	6	2	27	14
15 長野	8	15	62	13
16 東京	64	105	136	46
17 新潟	4	36	58	16
18 富山	20	22	13	6
19 石川	8	4	35	8
20 福井	16	11	12	0
21 静岡	12	31	24	5
22 岐阜	1	13	36	22
23 愛知	51	61	39	14
24 三重	8	19	26	3
25 滋賀	2	9	16	3
26 京都	28	30	6	1
27 大阪	33	34	36	16
28 兵庫	11	13	27	12
29 奈良	0	9	14	0
30 和歌山	2	0	1	0
31 鳥取	6	12	31	7
32 島根	6	6	0	0
33 岡山	22	30	22	7
34 広島	9	24	16	4
35 山口	7	20	53	8
36 徳島	2	3	17	0
37 香川	6	9	11	1
38 愛媛	6	9	5	0
39 高知	6	3	0	0
40 福岡	17	31	53	25
41 佐賀	5	11	8	0
42 長崎	10	6	14	4
43 熊本	5	2	11	0
44 大分	9	6	10	3
45 宮崎	9	24	25	13
46 鹿児島	8	8	24	3
47 沖縄	4	21	74	8
合計	593 (559)	973 (926)	1,262 (1,261)	409 (418)

※( )内は昨年の合格者数

造園連調査による平成24年度の1〜3級造園技能検定の結果がまとまった。それによると、合格者数は2828名で昨年と比較すると82名の増加、すべての級で合格者増となったことが分かった。各都道府県の結果は一覧の通りであるが、1級技能士の受検者が極端に少ない県もあり、バラツキが見受けられる。一方、女性の合格者数は9名減と僅かに下がったものの、合格者全体の4.5%を占めた。

この調査は国土交通省が全国の都道府県および市区町村の協力により、都市公園などの整備状況と緑地保全・緑化の実績を毎年調査しているもので、調査を開始した1960年度末と比較すると22倍増となっている。都市公園と特定地区公園(カントリパーク)の1人あたりの面積は9.9㎡で10年度末と比較すると0.1㎡の増加となった。1人あたりの整備面積は諸外国の都市に比べるといまだ低水準に止まっており、引き続き都市公園の防災や環境などの社会的なニーズに対応を図りながら整備を推進していく予定だ。

## 奉納献木祭の細部を検討

### 中国ブロック会議



四国ブロック会議

四国ブロック会議(ブロック長―池内剛三・愛媛支部長)は、11月16日(金)に香川県支部が当番となって観音寺市の観音寺グランドホテルにおいて四国4県31名の出席で開催された。四国ブロックでは、来年の伊勢神宮奉納行事・造園感謝祭の担当を務めるため、今回の会議には担ぎ手の主力となる青年層が多数出席した。各県支部長の挨拶、本部の谷尾副理事長の挨拶の後、議長に当番県の金藤香川県支部長を選出し、議事に入った。議事では、本部事務局による経過報告、各県支部並びに青年部の活動状況報告に続き、奉納献木祭について検討に入った。はじめに愛媛県支部から11月12日に行われた神宮との打ち合わせについて報告がなされ、献木(アカマツ)と植栽場所、剪定奉仕作業の実施要領について確認を行い、次回は1月下旬に高知県において担ぎの練習を行うことなどが決まった。

## 都市公園等の整備箇所が10万箇所を突破

### 国土交通省

国土交通省では、都市公園法に基づく都市公園などの整備箇所数が昨年度末時点で10万1111

箇所、11万9016ヘクタールになったと公表した。

## 年末の繁忙期に向けて安全作業を再確認しましょう!

統 千樹萬幹 818  
増田 拓朗

木に金をかけるより土に金をかける  
緑の重要性に  
対する認識はますます広まって  
きており、緑化も盛んに行われて  
いますが、それらの緑化は期待  
された効果を発揮しているで  
しょうか。私にはどうもそう思  
われません。枯死、あるいは枯  
死しないまでも先枯れを起して  
枯れ下がり無残な姿を呈して  
いる緑化樹が少なくありません。  
その生育不良原因のほとんどが  
植栽基盤整備の不備にあります。  
重機の転圧によって密に締め固  
められた埋立造成地、表土が削  
り取られて堅い下層土が露出し  
た切土造成地、このような固結  
地盤では樹木の根は伸びること  
ができず、健全な生育は期待で  
きません。

緑地造成における固結地盤の問題は三十年以上前から指摘されており、調査研究が進められており、調査研究が進められており、その成果を基に植栽基盤整備のマニュアルが刊行され、植栽基盤診断士の資格も創設されましたが、緑化現場への浸透はまだまだ不十分です。  
お役所の担当者からは「予算がない」という声も聞きますが、逆に予算の無駄遣いをしているのではないかと思われません。  
長年、アメリカで造園の仕事をした三谷康彦さんから、アメリカの造園家の合言葉は「木に金をかけるより、土に金をかける」だと教えられました。日本でもこの考えが常識になってくれることを願っています。  
(香川大学教授・工学部長)